

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	充実性偽乳頭状腫瘍(solid pseudopapillary neoplasm)の臨床・画像所見を解析する単施設後方視的研究 (B24-137)	
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部消化器内科学 診療講師 渡辺 真郁	
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし	
本研究の概要・背景・目的	<p>充実性偽乳頭状腫瘍(solid pseudopapillary neoplasm; SPN)は、膵腫瘍の1~2%とされ、非常に珍しい腫瘍です。腫瘍マーカーなどの特異的なマーカーや検査がないことから、手術前の診断には、臨床所見・画像所見などを総合して判断し、診断を行っています。</p> <p>しかしながら、SPNと診断・治療を受ける患者さんの数が少ないことから、それら臨床所見・画像所見の報告も少ないのが現状です。</p> <p>そこで、当施設でSPNと診断された患者さんがどのような臨床所見・画像所見を呈していたかをカルテを用いて情報収集することといたしました。</p>	
調査データ 該当期間	1990年1月1日から2024年11月30日までの情報を調査対象とします。	
対象となる患者さん	北里大学病院・北里大学東病院において、1990年1月1日から2024年5月31日までの期間に外科手術を受け、SPNと診断された患者さん	
研究の方法 (使用する試料等)	1990年1月1日から2024年11月30日までのカルテ・電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。	
	利用する情報	
	研究対象者の背景	年齢、性別、身体所見(主訴、腹部症状、現病歴、既往歴、家族歴、内服歴)、飲酒歴、喫煙歴
	血液学的検査値	白血球数、血色素濃度、血小板数
	生化学的検査値	PT、アルブミン、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、AST、ALT、LDH、ALP、 γ -GTP、尿素窒素、クレアチニン、カルシウム、血糖、ヘモグロビンA1c、アミラーゼ、リパーゼ、総胆汁酸、CRP、CEA、CA19-9、SPAN-1、DUPAN-
症状および所見	臨床経過：生存期間、観察期間、観察中に施行した検査の種類とその内容(病変径、病変部位、造影効果の有無、嚢胞の有無、石灰化の有無、結節の有無、膵管径と交通の有無、細胞診の結果、再発の有無)、手術の病理診断結果、画像診断(CT、MRI、EUS、US)結果、手術の合併症	
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。	
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から	

個人情報取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の遂行のための費用は、消化器内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象と致しませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：消化器内科・診療講師 担当者：渡辺真郁（ワタナベ マサフミ） 電 話：042-778-8111</p>
備 考	